DAIFUKU
Automation that Inspires

2026年12月期 第3四半期
（2026年1月1日 ～ 2026年9月30日）

決算説明資料

2026年11月11日

株式会社ダイフク　［6383］

エグゼクティブサマリー

DAIFUKU
Automation that Inspires

2026年12月期 第3四半期累計 実績	– 受注高は第3四半期連結累計期間（9カ月）の時点で、過去最高の年間受注高を上回る。売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第3四半期連結累計期間として過去最高。受注残高も過去最高を大きく更新。
2026年12月期 業績予想	– 良好な受注環境が継続しており、受注高を上方修正。 – 売上高は、前期末受注残高をベースに案件が順調に進捗したことに加え、半導体生産ライン向けシステムにおいて一部案件の売上計上が前倒しとなり、上方修正。 – 営業利益も半導体生産ライン向けシステムにおける増収効果により、上方修正。 – 資本効率の向上、株主還元のさらなる拡充のため、上限400億円（660万株）の自己株式取得を決定。
中東情勢を巡る 事業への影響	– 同地域に主要な生産・販売拠点を有しておらず、売上規模も僅少（前連結会計年度の連結売上高における構成比は0.1%未満）のため、事業への直接的な影響は限定的。 – 原油価格の高騰や国際物流の混乱に伴う一部資材の供給制約およびコスト上昇による受注済案件への影響、ならびに世界経済の不透明感の高まりを受けたお客さまの投資計画の動向を注視。

© Daifuku Co., Ltd.

国際財務報告基準（IFRS会計基準）任意適用について

当社は2026年12月期末より国際財務報告基準（IFRS会計基準）を任意適用します。

財務情報の国際的な比較可能性を高めることで、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまに対し、より有用性の高い情報を提供することを目的としています。

2026年12月期の通期連結業績予想（15ページ）は、日本基準に加え、IFRS会計基準に基づく通期連結業績予想についても、参考情報として記載しています。

IFRS会計基準の任意適用に伴う開示スケジュール（予定）

決算期		開示書類	適用会計基準
2026年12月期	第3四半期	四半期決算短信	日本基準
	期末	決算短信	IFRS
		連結計算書類	
		有価証券報告書	

© Daifuku Co., Ltd.

決算ハイライト

DAIFUKU
Automation that Inspires

2026年12月期 第3四半期累計 実績

受注高

7,812億円

前年同期比

+2,821億円

+56.5%

半導体生産ライン向けシステムが大幅に拡大して全体を牽引したことに加え、一般製造業・流通業および自動車生産ライン向けシステムも好調に推移し、大きく伸長。

売上高

5,537億円

前年同期比

+677億円

+13.9%

豊富な前期末受注残高をベースに半導体生産ライン向けシステムを中心に各領域で増加し、増収。

営業利益

834億円

前年同期比

+82億円

+11.0%

半導体生産ライン向けシステムにおける増収と収益性の向上が牽引し、増益。

営業利益率

15.1%

前年同期比

▲0.4pt

© Daifuku Co., Ltd.

01

連結決算

© Daifuku Co., Ltd.

2026年12月期 第3四半期累計 連結決算

DAIFUKU
Automation that Inspires

（億円）	2025/12期3Qs	2026/12期3Qs	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	4,990	**7,812**	+2,821	+56.5%
売上高	4,860	**5,537**	+677	+13.9%
営業利益	752	**834**	+82	+11.0%
営業利益率	15.5%	**15.1%**	▲0.4pt	―
経常利益	775	**859**	+83	+10.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	584	**632**	+48	+8.2%
四半期純利益率	12.0%	**11.4%**	▲0.6pt	―
一株当たり四半期純利益（円）	159.01	**171.15**	+12.14	+7.6%

為替レート（円）	2025/12期3Qs	2026/12期3Qs
米ドル	147.91	158.76
中国元	20.49	23.30
韓国ウォン	0.1047	0.1093
台湾ドル	4.75	5.01

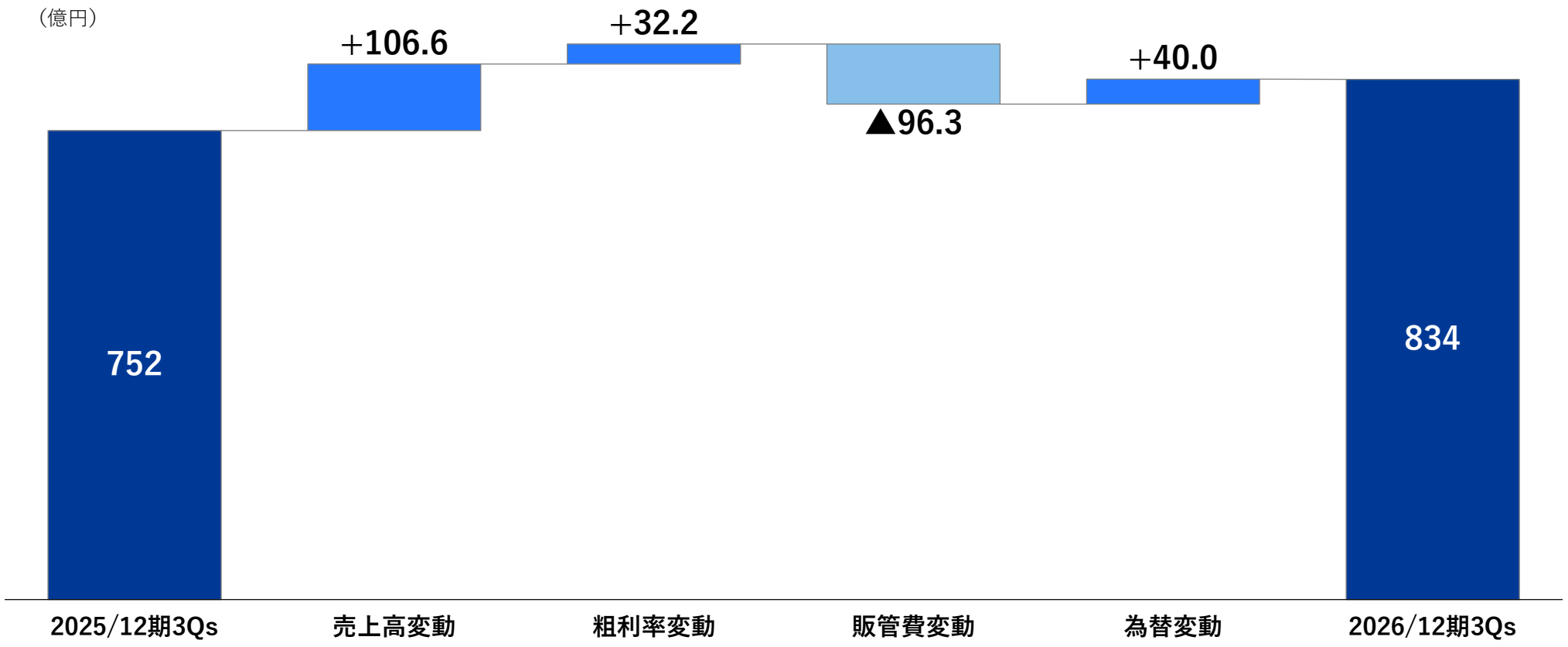
為替影響

受注高	売上高	営業利益
約+325億円	約+244億円	約+40億円

© Daifuku Co., Ltd.

営業利益の増減要因

人的資本投資や研究開発強化など将来成長に向けた費用の増加を、増収効果と生産効率化・プロジェクト管理の改善による粗利率の向上で吸収。



© Daifuku Co., Ltd.

報告セグメントの業績

DAIFUKU
Automation that Inspires

ポイント1 ダイフク

受注は、半導体生産ライン向けシステムが大幅に拡大、一般製造業・流通業および自動車生産ライン向けシステムも好調に推移し、大幅に伸長。売上は、前年同期を下回ったが、セグメント利益は営業外損益の改善等により増益。

ポイント2 Daifuku North America

受注は、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムが増加。売上は、前期末受注残高をベースに順調に推移し増収。

ポイント3 Clean Factomation

受注は、生成AI向け先端半導体投資の需要拡大により大きく増加。売上・セグメント利益は、豊富な前期末受注残高をベースに期中受注案件の売上計上も寄与し、大きく増加。

ポイント4 その他

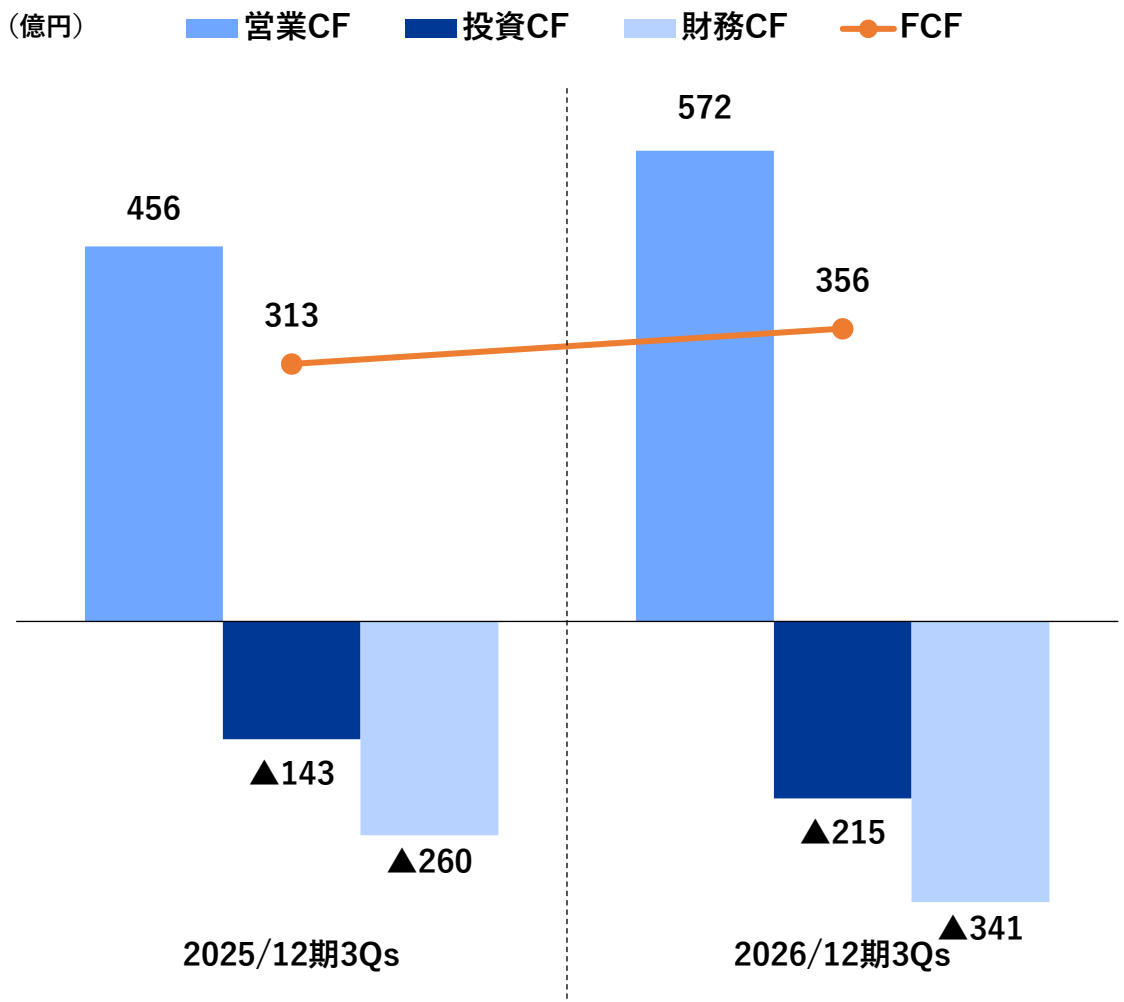
受注は、半導体生産ライン向けシステムを中心に増加。売上・セグメント利益は、前期末受注残高をベースに同システムを中心に好調に推移し増収増益。

（億円）	受注高（外部顧客からの受注高）			売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益（親会社株主に帰属する四半期純利益）		
	2025/12期3Qs	2026/12期3Qs	増減額	2025/12期3Qs	2026/12期3Qs	増減額	2025/12期3Qs	2026/12期3Qs	増減額
ポイント1 ダイフク	1,631	**2,647**	+1,016	1,934	**1,728**	▲205	445	**544**	+98
コンテック	142	**212**	+70	149	**179**	+29	9	**11**	+1
ポイント2 Daifuku North America	1,591	**1,713**	+121	1,205	**1,428**	+222	121	**118**	▲2
ポイント3 Clean Factomation	406	**1,217**	+810	284	**550**	+265	26	**97**	+70
Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	224	**650**	+426	295	**330**	+34	80	**87**	+6
ポイント4 その他	993	**1,370**	+376	992	**1,314**	+322	92	**155**	+62
連結調整等	–	–	–	▲1	**7**	+8	▲192	**▲382**	▲190
合計（調整後）	4,990	**7,812**	+2,821	4,860	**5,537**	+677	584	**632**	+48

© Daifuku Co., Ltd.

連結貸借対照表、連結キャッシュ・フローの推移

（億円）	2025年12月末	2026年9月末	増減額
流動資産	5,837	**6,070**	+232
現金及び預金	2,612	**2,566**	▲46
売上債権	2,389	**2,471**	+81
棚卸資産	640	**788**	+148
その他	195	**244**	+49
固定資産	1,704	**2,002**	+297
資産合計	7,542	**8,072**	+530
流動負債	2,271	**2,384**	+112
仕入債務	828	**878**	+49
契約負債	741	**807**	+65
その他	701	**698**	▲2
固定負債	754	**670**	▲84
負債合計	3,026	**3,055**	+28
株主資本	4,025	**4,504**	+479
純資産合計	4,515	**5,017**	+502
負債・純資産合計	7,542	**8,072**	+530



© Daifuku Co., Ltd.

仕向地別受注高・売上高

DAIFUKU
Automation that Inspires

（億円）	受注高					売上高				
	2025/12期3Qs	構成比	2026/12期3Qs	構成比	増減額	2025/12期3Qs	構成比	2026/12期3Qs	構成比	増減額
日本	1,323	26.6%	**1,648**	**21.1%**	+324	1,378	28.3%	**1,258**	**22.8%**	▲119
海外	3,666	73.4%	**6,164**	**78.9%**	+2,497	3,483	71.7%	**4,272**	**77.2%**	+788
北米	1,643	32.9%	**1,787**	**22.9%**	+144	1,274	26.2%	**1,507**	**27.3%**	+232
アジア	1,850	37.0%	**4,103**	**52.5%**	+2,253	1,949	40.1%	**2,422**	**43.8%**	+472
中国	544	10.9%	**1,349**	**17.3%**	+804	634	13.0%	**758**	**13.7%**	+124
韓国	475	9.5%	**1,229**	**15.7%**	+754	358	7.4%	**612**	**11.1%**	+254
台湾	653	13.1%	**1,300**	**16.6%**	+647	679	14.0%	**726**	**13.1%**	+47
その他	177	3.5%	**223**	**2.9%**	+46	277	5.7%	**324**	**5.9%**	+46
欧州	90	1.8%	**121**	**1.6%**	+31	106	2.2%	**215**	**3.9%**	+108
中南米	17	0.4%	**41**	**0.5%**	+23	23	0.5%	**28**	**0.5%**	+4
その他	64	1.3%	**109**	**1.4%**	+44	128	2.7%	**99**	**1.7%**	▲29
小計	4,990	100.0%	**7,812**	**100.0%**	+2,821	4,861	100.0%	**5,530**	**100.0%**	+668
連結調整等	–	–	–	–	–	▲1	–	**7**	–	+8
合計	4,990	–	**7,812**	–	+2,821	4,860	–	**5,537**	–	+677

© Daifuku Co., Ltd.

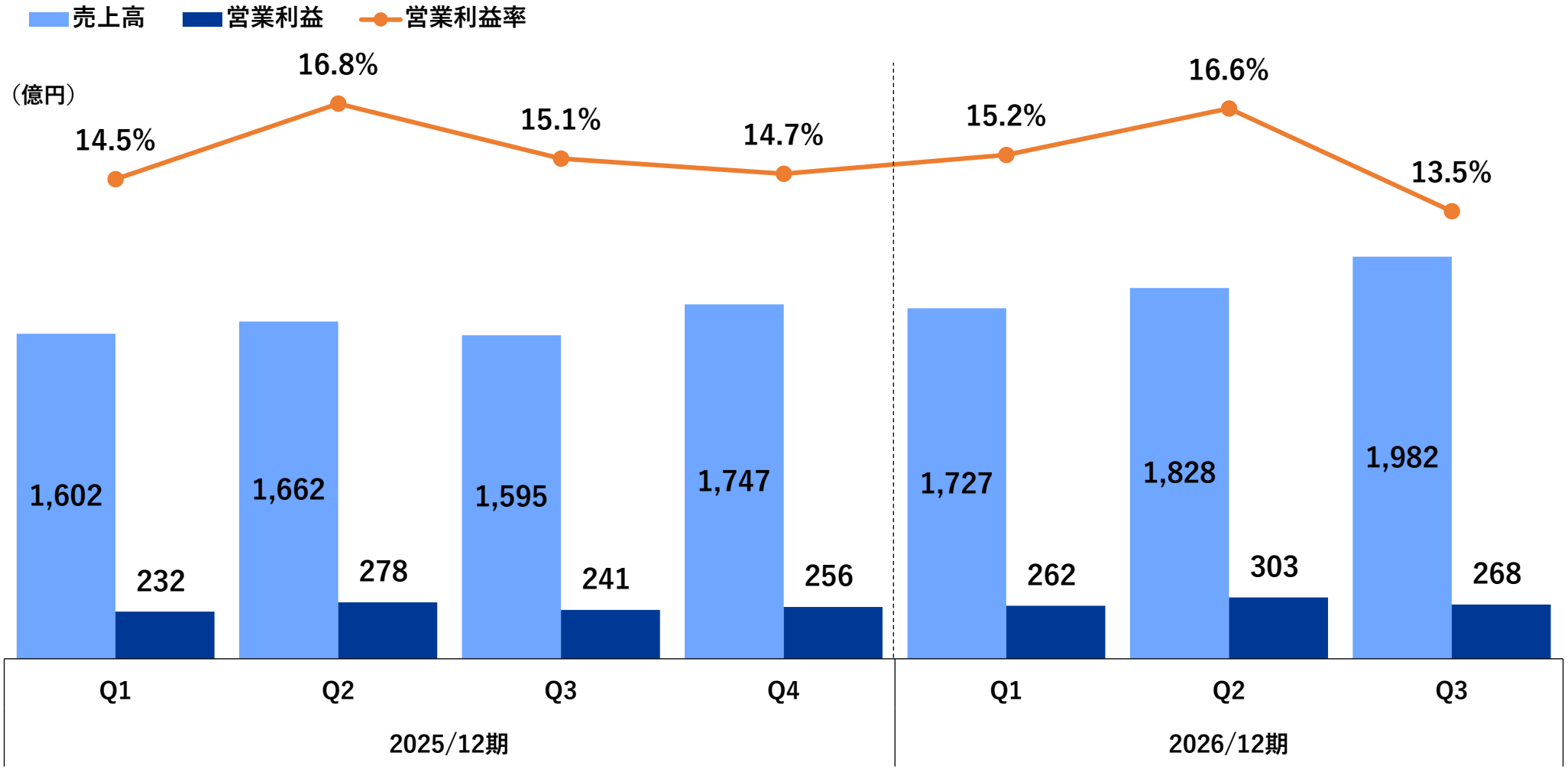
業種別受注高・売上高

DAIFUKU
Automation that Inspires

（億円）	受注高					売上高				
	2025/12期3Qs	構成比	2026/12期3Qs	構成比	増減額	2025/12期3Qs	構成比	2026/12期3Qs	構成比	増減額
自動車及び自動車部品	488	9.8%	**725**	**9.3%**	+237	628	12.9%	**701**	**12.7%**	+73
エレクトロニクス	1,706	34.2%	**4,127**	**52.8%**	+2,421	1,863	38.3%	**2,266**	**41.0%**	+403
商業及び小売業	959	19.2%	**1,229**	**15.7%**	+270	996	20.5%	**951**	**17.2%**	▲44
運輸・倉庫	154	3.1%	**150**	**1.9%**	▲3	215	4.4%	**213**	**3.9%**	▲1
機械	69	1.4%	**63**	**0.8%**	▲6	57	1.2%	**61**	**1.1%**	+3
化学・薬品	188	3.8%	**228**	**2.9%**	+40	167	3.5%	**200**	**3.6%**	+32
食品	194	3.9%	**192**	**2.5%**	▲2	185	3.8%	**224**	**4.1%**	+39
鉄鋼・非鉄金属	30	0.6%	**50**	**0.7%**	+20	47	1.0%	**35**	**0.6%**	▲11
精密機器・印刷・事務機	42	0.9%	**45**	**0.6%**	+3	34	0.7%	**45**	**0.8%**	+10
空港	900	18.0%	**785**	**10.1%**	▲115	536	11.0%	**652**	**11.8%**	+115
その他	257	5.1%	**213**	**2.7%**	▲44	129	2.7%	**176**	**3.2%**	+46
小計	4,990	100.0%	**7,812**	**100.0%**	+2,821	4,861	100.0%	**5,530**	**100.0%**	+668
連結調整等	–	–	–	–	–	▲1	–	**7**	–	+8
合計	4,990	–	**7,812**	–	+2,821	4,860	–	**5,537**	–	+677

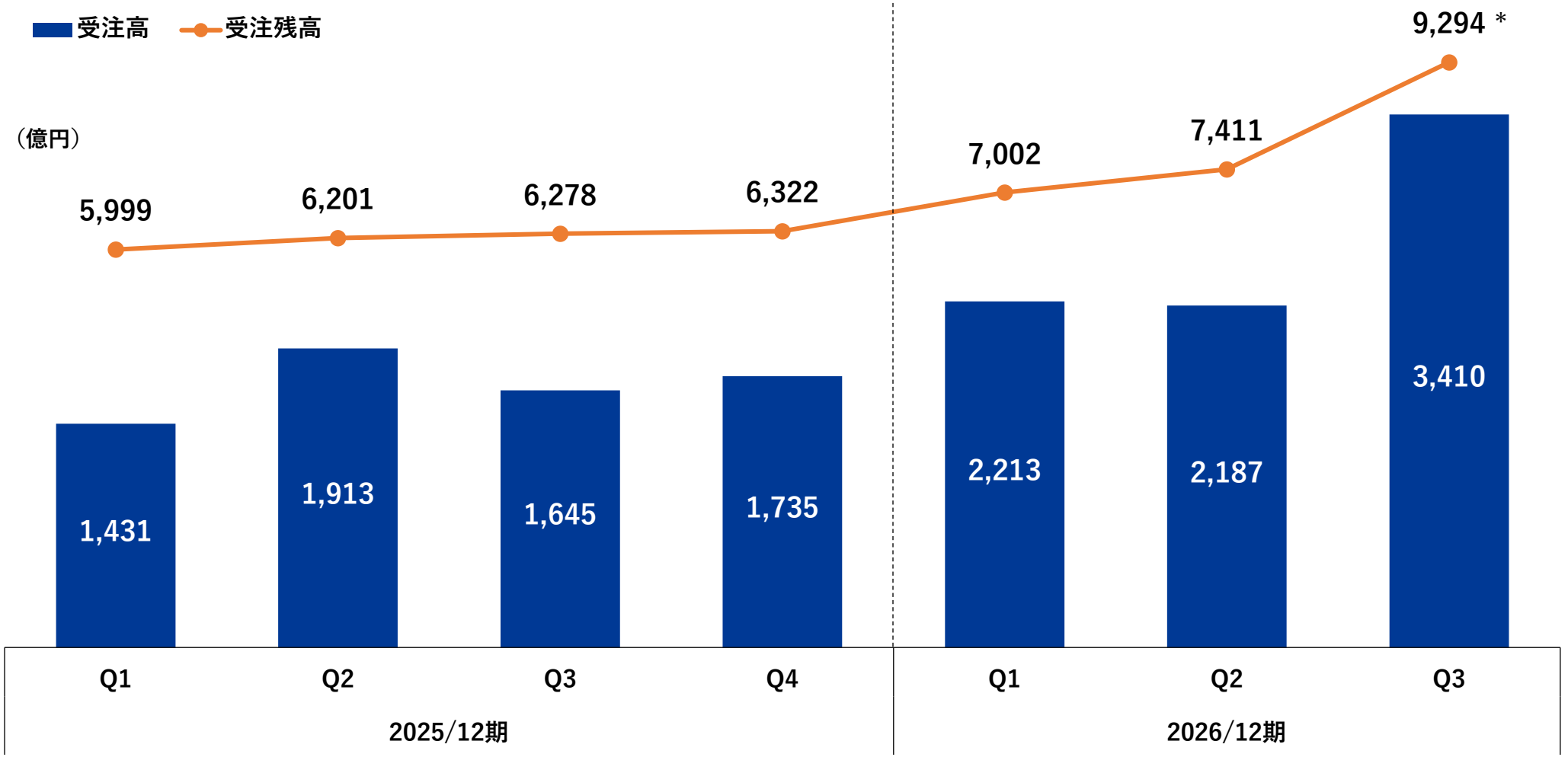
© Daifuku Co., Ltd.

四半期売上高・営業利益の推移



© Daifuku Co., Ltd.

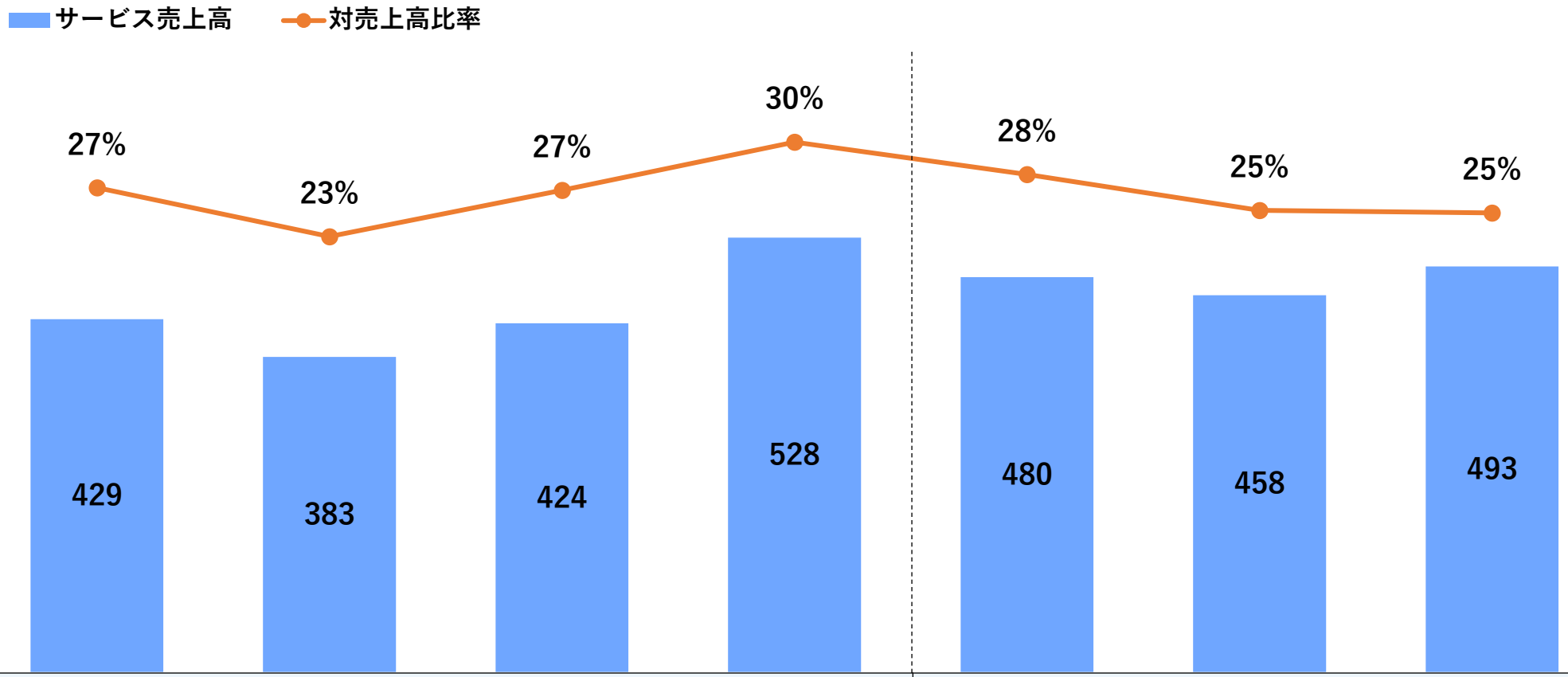
四半期受注高・受注残高の推移



*Eisenmannの受注残高195百万ユーロ（約360億円）を含む。

© Daifuku Co., Ltd.

サービス売上高



（億円）	2025/12期				2026/12期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
通期合計 **（対売上高比率）**	1,766 (27%)				**2,003**（予想） **(26%)**		

© Daifuku Co., Ltd.

02

業績予想

© Daifuku Co., Ltd.

業績予想サマリー

DAIFUKU
Automation that Inspires

2026年12月期 予想

受注高

通期
<日本基準 / IFRS>

9,700～10,000億円

8月公表より

+1,050億円*

前年同期比

+2,973～ +3,273億円

+44.2~+48.7%

受注環境が良好に推移していることから上方修正。

売上高

通期
<日本基準 / IFRS>

7,700億円

8月公表より

+350億円

前年同期比

+1,092億円

+16.5%

半導体生産ライン向けシステムにおいて、前期末受注残高をベースに案件が順調に進捗したことに加え、一部案件の売上計上が前倒しで推移したことから上方修正。

営業利益

通期
<日本基準>

1,190億円

営業利益率 15.5%

8月公表より

+60億円　営業利益率 +0.1pt

前年同期比

+181億円　営業利益率 +0.2pt

+18.0%

通期
<IFRS>

1,170億円

営業利益率 15.2%

半導体生産ライン向けシステムにおける増収効果により、上方修正。

*中央値の増減額

© Daifuku Co., Ltd.

2026年12月期　連結業績予想

DAIFUKU
Automation that Inspires

（億円）	2025/12期（日本基準）	2026/12期 予想（日本基準）						2026/12期 予想（IFRS）
	通期	通期				前年同期比（c-a）		通期
	[a]	2/12公表	8/6公表 [b]	11/11公表 [c]	前回比（c-b）	増減額	増減率	11/11公表
受注高	6,726	7,800~8,200	8,600~9,000	**9,700~10,000**	+1,050*	+2,973~+3,273	+44.2%~+48.7%	**9,700~10,000**
売上高	6,607	7,000	7,350	**7,700**	+350	+1,092	+16.5%	**7,700**
営業利益	1,008	1,050	1,130	**1,190**	+60	+181	+18.0%	**1,170**
営業利益率	15.3%	15.0%	15.4%	**15.5%**	+0.1pt	+0.2pt	–	**15.2%**
経常利益	1,046	1,085	1,165	**1,220**	+55	+173	+16.6%	–
親会社株主に帰属する当期純利益	780	800	865	**895**	+30	+114	+14.6%	**875**
当期純利益率	11.8%	11.4%	11.8%	**11.6%**	▲0.2pt	▲0.2pt	–	**11.4%**
一株当たり当期純利益（円）	212.39	217.57	233.55	**241.95**	+8.40	+29.56	+13.9%	**236.55**

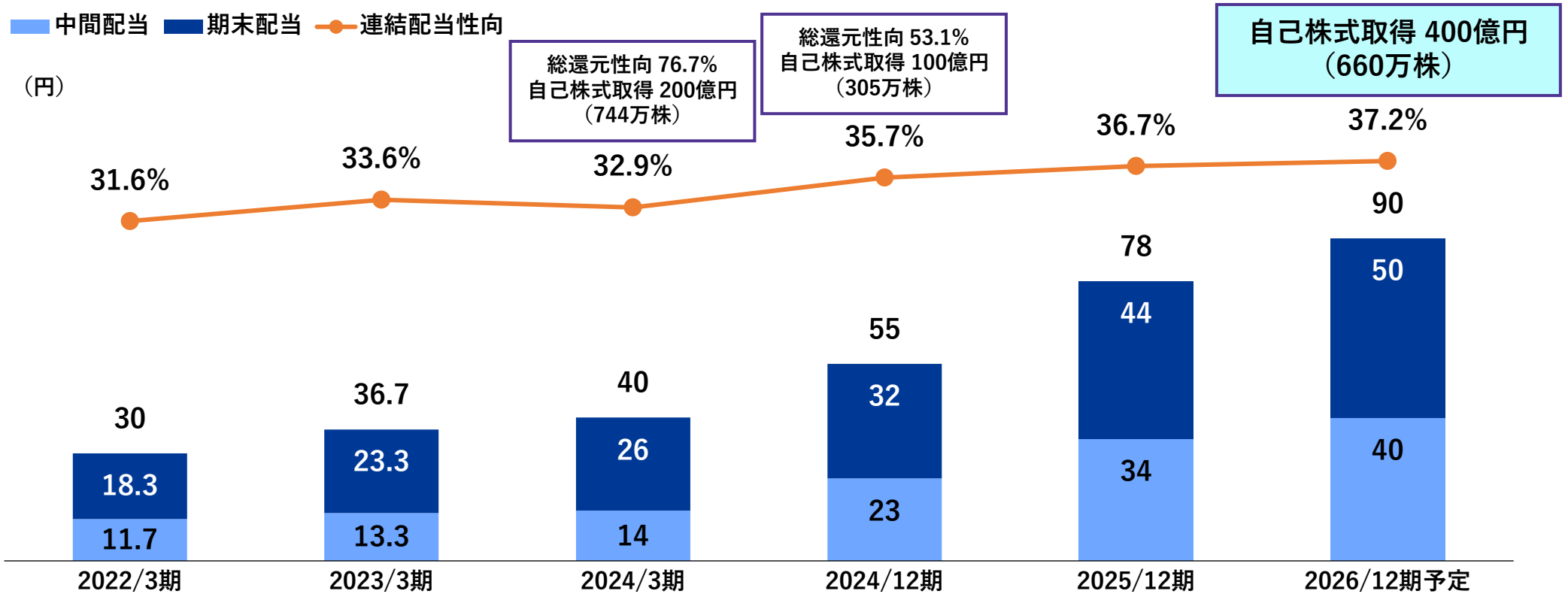
*中央値の増減額。
[注1] 2026年12月期の為替レートについては、対米ドル158円を想定。
[注2] 売上高の予想には、2026年7月以降のEisenmannの売上高110百万ユーロ（約200億円）を含む。

© Daifuku Co., Ltd.

株主還元（配当および自己株式の取得）

当社は、資本効率の向上、株主還元のさらなる拡充および株式数削減を通じた一株当たり株式価値の上昇を目的として、自己株式の取得を行うことを決定しました。400億円（660万株）を上限とし、2026年11月12日から2027年1月31日までの期間で取得を実施します。持続的な利益成長を通じて安定的かつ継続的な配当を実施するとともに、機動的な自己株式取得を行うことで、株主還元の一層の充実を図ります。

【一株当たり配当金の推移】



［注］2023/3期以前の配当額は、株式分割（2023年4月1日、1株→3株）からさかのぼって便宜的に再計算。

© Daifuku Co., Ltd.

03

トピックス

半導体需要の拡大に対応するため、グローバル供給体制を強化

生成AI・データセンター向けを中心とする半導体需要の拡大に対応するため、クリーンルーム事業（半導体生産ライン向けシステム）では日本・韓国・中国・台湾の4拠点を活用した供給体制の強化を進めています。

韓国では、牙山工場近郊に約530億ウォン（約58億円*）を投じて自社倉庫を新設。約23,000㎡の保管スペースを確保し、出荷待機品や部品の保管機能を拡充します。2027年8月の稼働開始を予定しています。日本では2026年4月に滋賀事業所の新工場棟が竣工。中国・台湾の生産拠点や外部パートナーも柔軟に活用し、半導体メーカーの設備投資需要を確実に取り込んでいきます。

クリーンルーム事業の生産拠点



日本 滋賀



韓国 牙山



中国 蘇州



台湾 台南

*1ウォン＝0.1093円換算

© Daifuku Co., Ltd.

将来の見通しに関する注意事項

本資料には、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述が含まれます。これらの将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手している情報をもとに、将来の不確実な要素に関する一定の前提の下、本資料作成時点における当社の判断に基づいて記載したものです。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、原材料・部品等の価格上昇または供給制約、法令・規制等の変更、自然災害、戦争、テロ、ストライキ、感染症等の影響、サイバー攻撃等による情報セキュリティ上のリスクなどが含まれます。但し、実際の業績等に影響を与えうる要因は、これらに限定されるものではありません。したがって、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の結果は将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。これらの将来に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。当社は、法令または証券取引所規則により求められる場合を除き、新たな情報、将来の事象又はその他の結果等に基づき、これらの将来に関する記述を変更、修正又は更新する義務を負うものではありません。

DAIFUKU

Automation that Inspires